**「教育実践学研究」****執筆要項**

2018年12月2日制定

2021年 9月 1日改定

2023年11月1日改定

2024年11月30日改定

１．原稿の冒頭には，表題，著者名，所属機関および所在地，抄録（400字以内），およびキーワード（3～6語）を日英両語で入れる。なお，抄録の英文は省略することも可能とする。

２．本文は「である」調とし，常用漢字，現代仮名づかいにより，数字は算用数字を使用する。読点は「，」句点は「。」を用い横書きとする。

３．原稿は１ページを40字36行，一段組みで作成する。

　　フォント形式は以下の通りとする。

・メインタイトル：MSゴシック，12pt，太字

・サブタイトル：MSゴシック，11pt，太字

　　・著者名・機関所属：MS明朝，11pt

　　・英文タイトル・英文サブタイトル・英語著者名・英語所属機関：Century10.5p

・日本語キーワード：MS明朝，10.5pt

・英文キーワード：Century，10.5pt

　　・抄録：MSゴシック，10.5pt，太字

・はじめに，方法，結果，考察，おわりに：MSゴシック，11pt，太字

　　・本文：MS明朝，10.5pt

４．本文中の引用は以下のように行う。

・文中の場合：「森山・山口（2018）は～」。

・文末の場合：「～（森山・山口，2018）」。

・複数の引用の場合は，セミコロンで区切る「森山，2018；山口，2023」。

・本文中の同一箇所で複数の文献を引用するときには，文末の同じ括弧内に著者名のアルファベット順に並べてそれらをカンマで区切り，また同一著者については単著を優先し，刊行年順に並べてそれらをカンマで区切る「～（山口他，2023；渡辺，2023；渡辺・原田，2018）」。

・同一筆者で，同一年に刊行された文献がいくつかある場合，発行年のあとにアルファベット小文字a，b…を付して区別する「原田，2024a；原田2024b」。

・異なる筆者で，同一姓，同一年の文献引用があり，混同の恐れのある場合，日本語文献であれば第1筆者の名を，外国語文献であればイニシャルを添える「～（山口　裕，2023；山口豊一，2023）」/「～（H.Yamaguchi, 2023 ; T.Yamaguchi,2023）」。

・著者が2名の共著の場合は，引用のたびごとに両著者名を書く。

・著者が3人以上の場合は，初出の際から，第1著者名以外「ら」または「他」や，“et al.”などをつける。論文末の引用文献には全員の氏名を書く（但し，教科書のように執筆者が多い場合は省略が可能）。

・複数著者の論文を「ら」または「他（ほか）」や，“et al.”表記にした結果，同じ省略表記の者が複数出てきてしまう場合は，論文間の区別がつくまで著者名を書く「森山・山口，相場他（2013）～」，「～（森山・山口・滝沢他，2013）」。

・省略した結果，最後の著者だけが異なる場合は，「ら」または「他（ほか）」や，“et al.”とせず，最後の著者まで書く。

・翻訳書を引用する場合は，原著者名とその刊行年を最初に引用し，その後に翻訳書の翻訳者名とその刊行年を括弧に入れ「Caplan（1964 新福監訳1970）～」とする。括弧内に文献を引用する場合は，「～（Caplan, 1964 新福監訳 1970）。」となる。

５．図表は原稿に組み入れて作成する。その際は図表のキャプションも本文中に入れること（表のタイトルは上に，図のタイトルは下にそれぞれ図表番号とそのキャプションをつける。図表など画像データは最高画質が望ましい）。

６．付記には，以下を必ず記述する。

・利益相反（COI: Conflict of interest: 外部との経済的な利益関係等によって, 公的研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる，または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態をいう。「経済的利益関係」とは，研究者が，自分が所属し研究する機関以外の機関との間で給与等を受け取る等の関係を持つこと）については，開示すること。発表内容に関して外部の営利を目的とする企業・組織・団体から給与，顧問料，研究費，その他の報酬を受けている場合は，企業・組織・団体の名称と報酬の内容および金額を，「利益相反自己申告書」により，投稿提出時に申告する。

・国や自治体から受けた研究費（科学研究費補助金，厚生労働科学研究費補助金等）を受けた場合は，利益相反自己申告の対象には該当しない。これらの研究費を受けた場合は，「研究助成情報」として付記に記載すること。発表内容に関して外部の営利を目的とする企業・組織・団体から給与，顧問料，研究費，その他の報酬を受けている場合は，企業・組織・団体の名称と報酬の内容および金額を，「利益相反自己申告書」により，投稿提出時に申告すること。

・口頭発表，学会等の予稿集，学位論文等は，加筆・再構成して投稿した場合は，その関連性を示す。

７．謝辞には，オーサーシップを満たさないが研究に貢献があった者（調査や実験への協力者や，論文執筆にあたり助言を受けた指導者等）への実質的な謝辞を記す。

８．註は，文章中右上に上付き1/4角数字1，2，3…）で表し，番号に応じた注釈を，引用文献とは別に論文末に記す。

９．引用文献は，原則としてAPAスタイルに準拠し，日本語文献と外国語文献を分けず，共著の場合も，第1筆者の姓のアルファベット順に記載する。同姓の筆者がいる場合は，名のアルファベット順となる。

・同一の筆者が，単独で発表している文献と，その著者が第1筆者として名を連ねている共著の文献がある場合には，単著を先にし，次に共著を並べる。また，第1筆者が同一で，第2筆者が異なるときは，刊行年ではなく，第2筆者の姓のアルファベット順に並べる。第3筆者以降も同様となる。

・同一筆者の，あるいは同一配列の共著の文献がいくつかある場合には，早い刊行年のものから順に並べる。同一年に刊行された文献がいくつかある，あるいは，本文への引用の際の省略表記が同一となる場合，刊行年のあとに，文献名アルファベット順で，アルファベット小文字a，b…を付して区別する。

・姓か名のいずれかが1文字の著者の場合には，姓と名の間を1文字空ける。

・引用が複数行にわたる場合，2行目以降は全角1文字分を下げる（ぶら下げインデント処理1文字を行う）。

（学術論文）

・日本語の場合：年号の（カッコ）は全角とする。（）後にピリオドを入れる。年号は半角MS明朝，巻または号数は太字にする。

・欧文の場合：すべて半角　Century　とする。雑誌名は名詞の頭を大文字にし，イタリック体（斜字体）で表記す。巻または号数は太字にする。

（書籍）

・日本語の場合：書籍名のあとに，出版社，全ページ数または引用したページを記載する。

・欧文の場合：すべて半角Centuryとする。書籍名は冒頭と固有名詞を大文字とし，イタリック体（斜字体）で表記する。ページ数はエンダッシュでつなぐ。

（オンライン）

・URLから元の文献にリンクが可能であることを確認の上，確認を行った日を閲覧日とし，URLのあとに閲覧日を記す。

10．二重投稿を禁止する。2つの雑誌に酷似した内容が掲載された場合は二重投稿の疑いをかけられるので十分注意をする。

11．人を対象とする研究の場合は，受けた倫理審査の手続き，承認を与えた倫理委員会（の名称，承認番号等）を記載する。記述においてはプライバシー侵害がなされないように細心の注意を払う。

12．掲載決定後の大幅な変更は認められない。